

高齢婦人の夏物衣料に関する一考察

高間 由美子

1. はじめに

このほど厚生省が発表した1996年時点での日本人の平均寿命は、前年よりさらに延びて女性83.59歳、男性77.01歳となった。総務庁の人口推計月報によれば1997年6月1日現在の高齢者は1954万人で2010年には2813万人となり、2025年の高齢者は総人口の3分の1を超えるという予測である。

人口の高齢化を示す指標として一般に老年人口比率が7%を超すと高齢化社会と呼び、14%を超すと高齢社会と呼んでいる。このような人口の高齢化は、今後近い将来超高齢社会がくるであろうことを示唆している。

現在高齢者の衣生活もある程度満足感を与えるものとなっているとは言え、高齢化の進行にともない、より高齢者の生活実態に即した衣料の充足が必要となろう。

前稿では、岐阜アパレル業界の婦人服生産を通して高齢者向けの既製服生産の実態を明らかにすることによって、現況を把握することを行った。

その結果、アパレル業界ではミセス・中高年向けのものを高齢者用として生産販売している場合が多く、シルバー（65歳以上）専用に生産されている製品は、きわめて少ないことがわかった。したがって、高齢者はシルバーク向け衣料を着用しているとは限らず、その上高齢者自身の要望、身体的条件、あるいはそれらに対する意識に合致した衣服を着用しているとは考えられない。

そこで本稿では、夏物衣料に関する調査を通して、消費者の立場から高齢者の生活実態に即した衣料が充足されるための要件を、探ってみることにした。

2. 調査の概要

調査の目的及び方法

衣料を通して高齢者の要望、身体的条件、好み、用途などを把握することにより消費者の満足度の向上を図る上での指針を得ることを目的とする。また、20歳前後の女子学生が高齢者の衣生活をどのように受けとめているのかを調査することにより異世代の見方を通した望ましい高齢者のあり方を考えてみた。

調査はアンケート法によって行った。アンケートの配布数はアンケート【A】167、アンケート【B】196、有効回答数はそれぞれ163、196であった。

アンケート【A】

調査対象 無作為抽出法により愛知県、岐阜県内に居住する50歳以上の女性167名を抽出
実施期間 1997年7月下旬から8月上旬

アンケート【B】

調査対象 東海女子大学、東海女子短期大学の学生196名（年齢18歳～22歳）
実施期間 1997年9月初旬

3. 結果及び考察

I アンケート【A】について

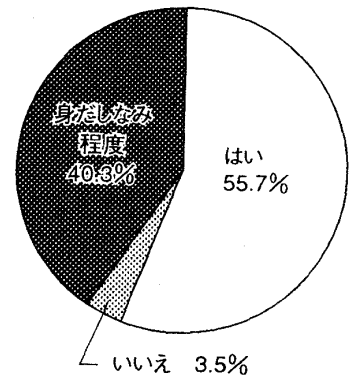
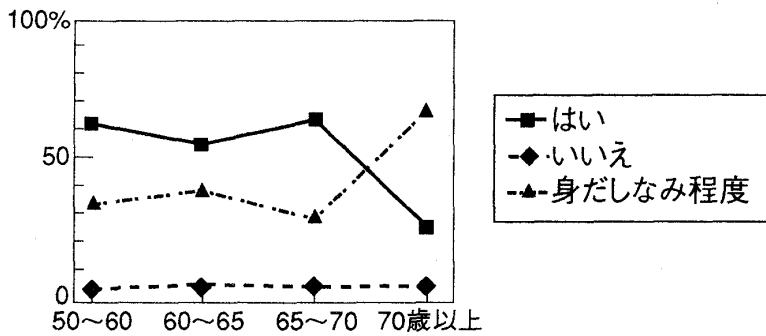
- (1) ファッションやおしゃれに対する関心
全般的にファッションやおしゃれに対する関心は高い。その加齢変化をみると、70歳までは関心が高く、70歳以上では関心が低くな

ることが認められる。これは70歳を境に「年だから」「どうせ年寄りだからおしゃれなんか」との意識がそうさせていることであろうが、70歳をピークにおしゃれというよりも身だしなみ程度と装いに消極的になってきたことを示しているといえよう。この年齢は衣生活全般に対して無関心となる境目と考えてよいと思われる。これは身体条件や家族関係の変化などにより生きがいの焦点が変化していくためと考えられる。

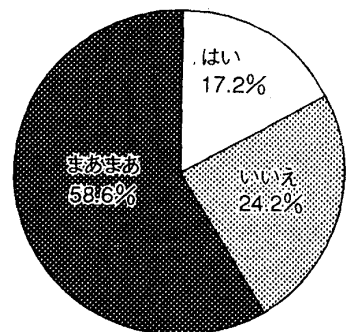
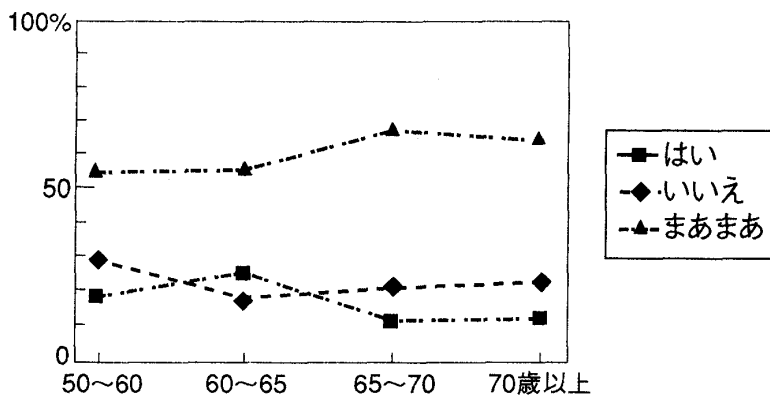
また、ファッションに関心が高くても自分をおしゃれとは言い難いとする高齢者が多く、ファッションに関心をもつことが必ずしも実際の装いに結びついていないことがわかった。

このようにファッションやおしゃれへの関心の有無については年齢階層差によって明かに差があらわれ、高齢になるにつれて衣服に対する関心は次第に減少していることがわかる。

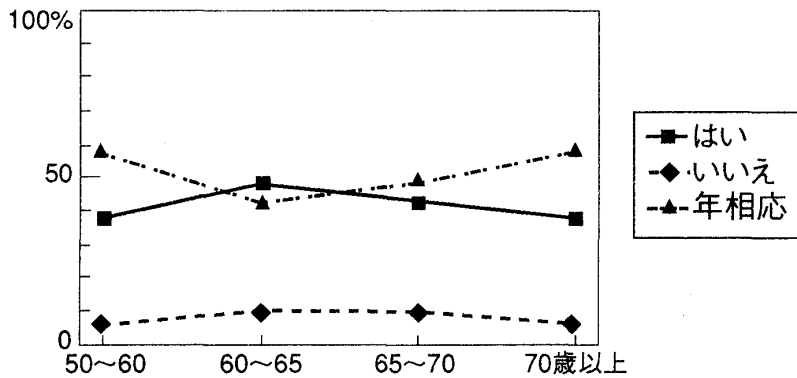
尚、回答者自身に年齢よりも若く見えるかとの問いに対しては、60歳以上～65歳未満の年齢層で若く感じているとの回答が多く、それ以外の年齢層では年相応とする回答が多くみられた。もっと自信を持っておしゃれを楽しみ、若々しくあって欲しいものである。とはいうものの謙遜は高齢者の特徴かもしれない。



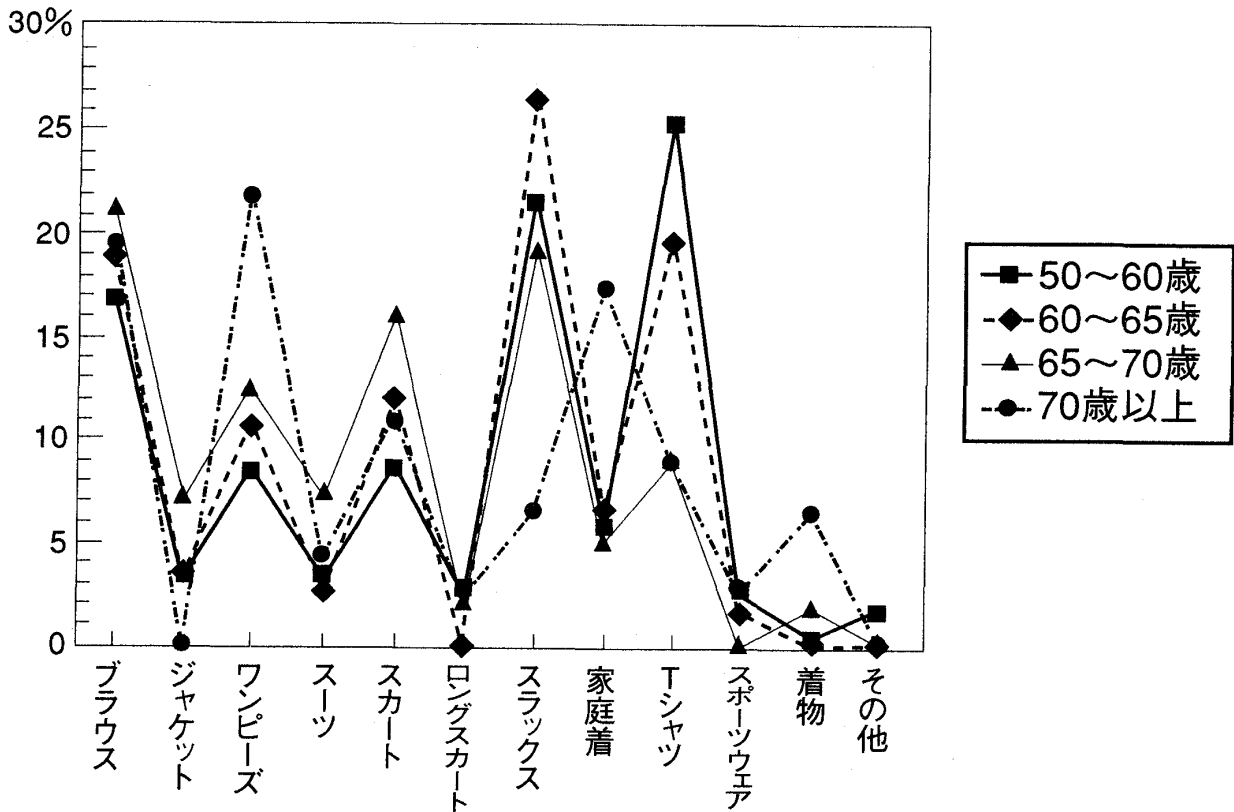
問1 ファッションに関心がありますか (図1)



問2 あなたは自分がおしゃれだと思いますか (図2)



問9 あなたは年齢よりも若くみえると思いますか (図3)



問3 夏はおもにどんな服を着ますか (図4)

(2) 夏物衣料の種類について 図4

夏物衣料という限定から、職業柄やむを得ず着用するケースを除いて、ジャケット、ロングスカートなど着用の度合いは少ない。

スラックスは70歳以下の年齢層には、かなり好まれていることがわかる。ここ数年、パンツの流行に伴いデザイン、素材、色が豊富

に出揃っている。穿きやすく、しかも活動的で、その上腰を覆う長いブラウスとの組み合わせで着こなせば体型をカバーすることもできる。気になる体型のカバーと同時に流行を取り入れることもできるパンツスタイルは、スカートを穿くよりももっとおしゃれにみえる要素を兼ね備えたナウい着こなしとして受

け入れられたものと思われる。

家庭着は70歳以上に着用者が多い。これは、70歳以下の人々では特に家庭着にこだわることなく、普段着を自由に選択しているためと思われる。つまり、年齢が高い人ほど家庭着と称して売られている普段着でくつろいでいると思われる。その延長上のような感覚でワンピースの着用者の多いのも理解できる。夏物衣料としてスラックスを敬遠する一方で、涼しげで締めつけないワンピースが採用されている理由として、ワンピースが家庭着兼用という形で着用されていることが考えられる。いずれにしても家庭着やワンピースは身頃が一続きになり着脱しやすく、その上締めつけない楽な服として好まれていることになる。

Tシャツは夏にはふさわしいアイテムでもあり、しかも扱いやすい素材のものが多いため65歳までの年齢層には、ブラウスと同じくらい好まれている。年齢が高くなるにつれ着用率が低くなり、まだまだTシャツは若い人向けのものという感覚があるようである。

スポーツウェアの着用率が低いことは意外であった。一時期スポーツウェアが家庭着がわりにされていたことを考えて、着用が多いのではと予想していたが高齢者には好まれていなかったようである。がしかし夏物衣料の調査であったため着用していなかったということも考えられるので冬物衣料での検討課題にしたい。

(3) 既製服の不満点

夏物の入手方法は図5に示すように既製服の利用者が圧倒的に多かった。そこで入手方法が既製服と回答のあった人から既製服を選ぶときの不満点を記述式でたずねた。その結果を以下に項目別に列挙する。

衣服サイズについて

- ・高齢者向きのサイズ不足
- ・号数が大きくなるあるいは小さくなるにしたがいデザインが少ない。
- ・サイズ表示が同じでもメーカーによって寸法が違う。

- ・スーツなど上下物はトップに比べてボトムが小さい。
- ・外国並みに国産サイズを見直す必要がある。

部分寸法

- ・袖丈、ズボン丈が異常に長い。

デザイン・色

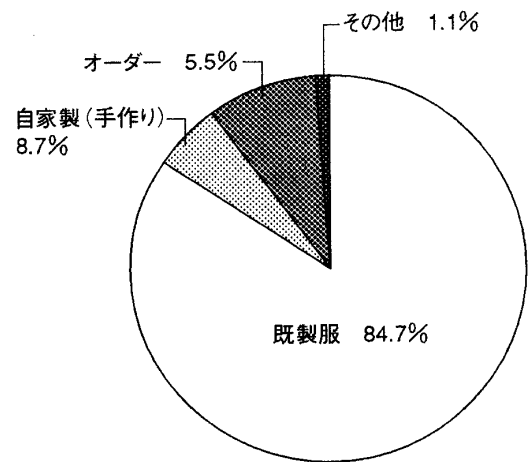
- ・高齢者向きの衣料はデザインが少ない。
- ・高齢者向きの衣料は色が地味すぎる。

品質・縫製

- ・縫製が悪い。
- ・ボタン付けが悪い。(取れやすい)
- ・パッドの付け方が悪い。
- ・品質表示のない服がある。

その他

- ・同じ服が売場にあるのをみると購買意欲をそがれる。他人との差異を持ちたいという気持ちを感じられなくなる。
- ・試着すると断りにくい。



問4 夏服の入手方法はどれですか (図5)

以上の点から特にサイズについての不満が目立った。高齢者の体型の特徴として上半身と下半身のバランスが悪く、いわゆる下半身デブと称される体型が多いが、そのためバストに合わせて選べばウエスト、ヒップが細すぎ、ウエスト、ヒップに合わせて選べば上半身がフィットしなくなる。あるいは、身長や幅に対して背丈、着丈、袖丈など丈が合わな

い例が多くある。中には高齢のため腰が曲がり前が下がるなど体型からくる不満もあった。このようにサイズに関しては体型の変化も含めて再検討する必要のある事柄が多く認められた。

また、色については明るい色が少なく年相応の服を選べば地味すぎるとの不満があり、他方では派手すぎるとの不満もあった。地味、派手に関しては人によって判断規準が異なるため、着る人側のバロメーターによるバラつきが大きい。

学生を対象としたアンケート【B】の「高齢者の方にアドバイスをしてあげたいこと」の設問に対して『うちのおばあちゃんは派手だからといって、地味な服を着ているが派手な服でも自分がいいと思えば着て欲しい。自分の年にふさわしくないといって派手な服を着ないのは淋しい気がするので気に入れば買って着て欲しいと思う』

との意見もあり着る側の思いと見る側の思いには、かなりの差があるといつてよい。

(4) 好みの色についてたずねた結果は以下の通りである。図6

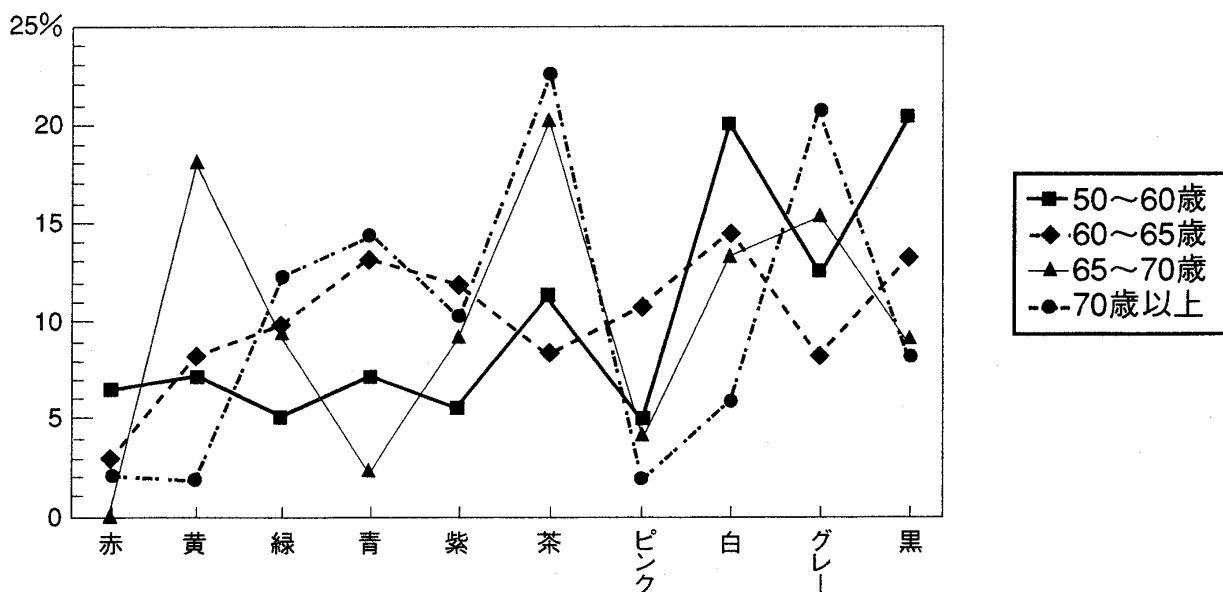
色の好みは図6に示すように白、黒、茶、グレーの順に高くついで青、黄、紫などが上位にあがっている。ピンク、赤などはあまり

好まれていないようである。夏物衣料ということもあり、やはり白が筆頭になった。清潔感、清涼感それに夏の強い陽ざしに映える白の嗜好は納得できる結果であった。

年齢が高くなると少しでも明るい色を求める傾向にあると予測していたが結果は下記のとおりで、一般に夏物衣料としては黒、グレーなどの濃い色は不向きと考えられているにもかかわらずこれらの色が上位を占めている。これには流行もあろうが高齢になるほど「年をとったら地味な色」という潜在意識が強く働いているためと思われる。

次に年齢別にみると70歳以上の人々の茶色とピンクの好みに大きな差がみられることが特徴としてあげられる。無彩色では圧倒的にグレーを好む者が多かった。グレーの嗜好が少ない50歳以上～60歳未満では白と黒が多く、これは若い人々の黒色人気を反映しているものと考えられる。つまり流行に敏感でしかも着こなし上手のあらわれではないだろうか。しかし昨冬からの茶色の流行にもかかわらず夏物にその影響はみられなかった。流行色だからといって一般に秋の色の色とされる茶色を選ばないことは賢明とも言える。

高齢になれば緑、青、紫などが好まれると予測をしたものの、実際には年齢によって好みの差が顕著にあらわれたことは興味深い。



問6-③ 自分の好きな色はどれですか。(図6)

色の好みは肌や髪の色によって、似合う、似合わないが大きく左右されるものであることを示す結果であるといえよう。

高齢になればなるほど外観の審美性からみても衣生活は大切な生活行動のひとつと思われるが、今回の結果からは、美しく装うための色使いは高齢者にはあまり意識されていないように思われる。

(5) 夏物衣料の選択について 図7

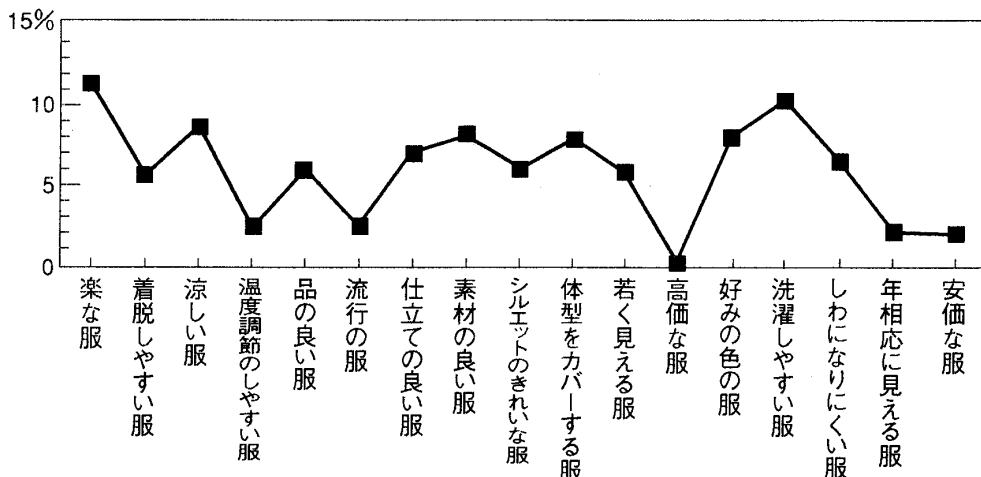
夏物衣料を選択する場合に意識することをたずねてみた結果を図7に示す。

夏物衣料としては洗濯しやすい服、涼しい服、素材の良い服など快適性を求めた項目が

上位を占めている。ただ洗濯しやすい衣服に関しては、従来の汚れれば洗うからから、着れば洗うへと事情が変化しているため、洗った後すぐ着られるいわゆるイージー・ケア素材が好まれていることをつけ加えておきたい。

年齢を感じとれる選択としては楽な服、体型をカバーする服、若くみえる服、着脱しやすい服、温度調節のしやすい服などがある。

また、この年齢だからこそと思われることとしては、仕立ての良い服、品の良い服、シルエットのきれいな服などがあげられる。経済的に余裕がある世代特有の選択ということができよう。ここでも年齢にこだわった選択の意識が伺われる。



問6-④ 服を選ぶときのポイントは。(図7)

(6) 夏を快適に過ごすための工夫について

夏を快適に過ごすための工夫をたずねた結果を回答の多かった順に列挙する。

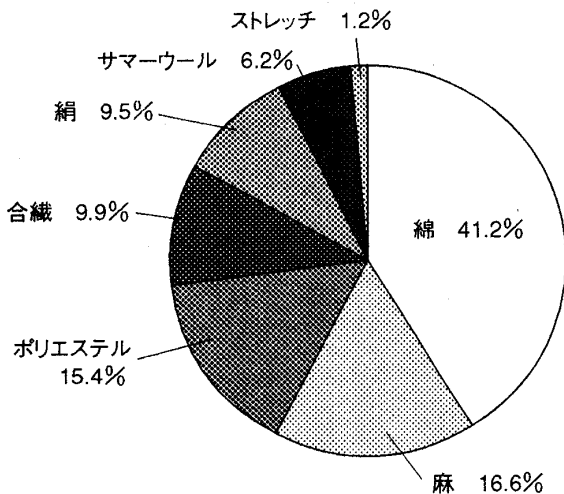
- ・身体を締めつけないデザイン選び。
- ・前開きの衣服が良い。
- ・衿なしで涼しく快適に。
- ・着脱しやすい衣服を選ぶ。
- ・涼しく感じる素材選び。
- ・通気性の良い衣服を選ぶ。
- ・吸湿性の良い衣服を選ぶ。
- ・家庭で洗濯しやすい衣服を選ぶ。
- ・上下の組み合わせで着用し、汗が出れば上衣を取り替える。

- ・着替えは面倒がらずこまめに。
- ・下着は綿素材を選ぶ。
- ・家では綿、外出はポリエステル着用。
- ・夏の素材は、やっぱり綿。
- ・肌にまとわりつかない衣服選び。
- ・裏地のない衣服。
- ・温度調節のしやすい服装を好む。
- ・肩が凝らない軽い服を選ぶ。

この他に「夏は首や手が日焼けしやすく、年を重ねるごとに気になるため涼しくて日焼けを防ぐ衣服が欲しいです。」と、日焼けの悩みを訴える記述もあった。また、「今夏は、

ゆかた地1反で2枚のホームウェアを作りました。綿なのでとても着心地がよく、洋服にもない柄で大変気に入っています。」と、ゆかた地の効用を述べたものもあり和服地の伝承方法のひとつと受けとめたい。

夏服の素材としては図8に見られるように綿、麻素材を挙げた者が全体の半数以上を占めている。天然素材しかなかった頃と違い、素材の開発によって夏用の衣料素材も多様化しているが、しかし、夏はやっぱり綿という高齢者が多いことも否めない。快適さが一番ということだろうか。



問6-⑤ どんな素材が多いですか。(図8)

II アンケート【B】について

祖母や近隣の高齢者の夏物衣料を中心に衣生活についての20歳前後の女子学生の考えを調査した。結果を以下に記す。

① 高齢者に着て欲しいと思う洋服について

- ・明るい色の洋服を着て欲しい。
- ・暗い色の服装は夜道には危険。
- ・派手な服はやめて欲しい。特にラメの服やケバケバしい服装。
- ・年相応だからと言って地味な服はやめて欲しい。
- ・少しは流行を取り入れて欲しい。

- ・上下の組み合わせに気をつけて欲しい。(例・チェックに花柄、柄に柄などは不可)
- ・小綺麗にしていって欲しい。
- ・品の良い服装。
- ・ゆとりのある服。
- ・動きやすい服。
- ・着脱の楽な服。
- ・通気性の良い服。
- ・吸湿性のある素材選び。
- ・洗濯に耐える素材。
- ・肌触りの良い素材。
- ・肩の凝らない軽い服の選択。
- ・ウエストのゴムはやめて欲しい。
- ・衿なしの服は、首廻りがだらしくみえる。
- ・つばの広い帽子をかぶると日焼け防止にもなりおしゃれにもみえる。

② 高齢者から聞いた洋服に対する不満について

- ・サイズ不足。
- ・S、M、Lのサイズ以外のサイズ表示が欲しい。
- ・一般に着丈、袖丈、ズボン丈などが長すぎる。
- ・サイズは合っても動きづらい。
- ・動きやすい服が欲しい。
- ・衿元が苦しい。
- ・年寄り向けの服のデザインも服種も少ない。
- ・肌触りの悪い素材。
- ・汗の吸収が悪い。
- ・通気性の悪い素材。
- ・後ボタン、肩ボタン、後ファスナーは着にくい。
- ・ボタンの服であってもボタンのかけやすい服にして欲しい。
- ・ゴム入りの衣服であってもきつい。
- ・ゴムばかりでなくベルト芯のズボン、スカートも欲しい。
- ・腰の曲がった人の配慮も欲しい。
- ・既製服が合わないのでオーダーしている。

③ ファッションに関して高齢者にアドバイスをしてあげたいこと

- ・自分の肌が明るく見える服を選んで欲しい。
- ・派手すぎず地味すぎずの服装。
- ・上下柄物を着ている人にアドバイスをし
てあげたい。色の組み合わせも。
- ・服装にもっと気を使うと若く見える。
- ・もっと気合いを入れておしゃれをして欲しい。
- ・高齢者だからといって地味にまとめるの
ではなく、自分らしさを出して欲しい。
- ・自分に合ったサイズの服を着用して欲しい。
- ・アクセサリーをつけて欲しいが派手なア
クセサリーはやめて欲しい。
- ・夏に色つき眼鏡の似合う人は少ないので
眼鏡にもおしゃれを。
- ・おしゃれ染めで紫色の髪にしても似合わ
ない人は、まだ白髪のままの方が良い。
- ・髪型のイメージチェンジをしておしゃれ
に。
- ・膝下ストッキングはやめて欲しい。
- ・スカーフを上手に扱って欲しい。
- ・化粧をして欲しい。
- ・着物を着て欲しい。

若い世代の視点と対応

- ・私の母は自分の母に、きれいな色の服を
選んであげています。
- ・祖母には座ったりする時に楽なズボンをは
いて、クーラーなどで寒くならないよ
う長袖のブラウスやジャケットなどを着
て欲しいと思います。
- ・私の祖母は買い物に行くたびにというく
らい洋服を買います。1回か2回着てす
ぐに片づけるのでいっぱい服を持ってい
ながら、いつも服がないと言っています。
高齢者の洋服は、私から見るとみんな同
じに見えるので少しぐらい派手でも、違
う服を着て欲しいと思います。
- ・私の祖母は洋服を選ぶ時、まず前開きか

どうか見るそうです。後ろにボタンがあ
ったりすると着脱の時に体力を要するの
だそうです。被って着る服も同じです。
このように洋服を選ぶ時は、着脱のこと、
そして動きやすさをみるそうです。それ
を考えると、なかなか思うデザインがな
く困っているようです。

- ・『もう歳だから』じゃなくて『私はまだ
まだ死ぬまでひとりの人間』と、どん
どん冒険して欲しい。
- ・日本の高齢者の方は年をとるとそれなり
に地味な色の服を着ますが、英国では年
をとっても全身ピンクとか黄色を着てい
るのを見かけます。日本の高齢者の方も
全身とはいかなくても、もう少し明るい
色や鮮やかな色の服を着てもいいと思
います。
- ・うちのおばあちゃんは、私が好ましいと
思う服装をちゃんとしています。

老若男女を問わず「おしゃれ」になってき
ている昨今、着る人の意識と見る人の感じ方
は様々である。若い世代特有の発言もあるが、
多くの若者の高齢者を見る目や思いは真剣で
ある。若い世代の感覚が高齢者のファッショ
ンにもっと生かされるような交流の場なども
考えられてよいのではないだろうか。

4. これからのシルバー衣料は

60歳以上になると町内の老人クラブの加入
が認められる。8年前に亡くなった姑は、そ
れを嫌い加入していなかった記憶がある。

高齢化が進む中、社会でバリバリと働いて
いる60歳代の人達を“老人”と呼ぶのは不適
切との声もある。現に老人クラブの加入率が
減少している原因のひとつとして“老人”の
呼称を嫌う60歳代の人達の加入率低下が挙げ
られている。

今後、シルバー衣料、老人衣料あるいはお
ばあちゃまコーナーの呼称も検討が必要と思
われる。超高齢社会になれば当然60歳以上と

いえども年齢別に区分けが必要となってくると思われる。“老人”と呼ぶことが不適切と考えるならば60歳以上の衣料を提供する場合も年齢区分に応じて適切な呼称が欲しい。

ヤング向けの商品は、ヤング、ミッシー、ヤング・アダルト、ヤング・ミセスなど年齢によって細分化することにより、消費者心理をたくみに利用して、購買力のアップを計っている。

シルバー衣料も一括表示や一括販売をしていては、消費者の心はつかめない。

前稿でアパレル業者にシルバーコーナーの設置について尋ねてみたところ「望ましい」が31%、「望ましくない」が23%と両者の差は少なかった。

又、販売フロアへの設営場所は、中程から一番奥辺りという回答が多かった。このような状態では真のシルバー衣料の販路拡大は望めないであろう。

今回の調査でも加齢にともない、衣服に対する意識が変化することが認められた。これからの高齢者衣料には 1) 年齢階層による意識の違いに対応したデザインの選定、2) 加齢にとまなう体型変化へのきめ細かい対応、3) 今後予想される身体的障害をもつ高齢者の増加への対応、4) シルバー衣料という呼称の検討などを行った上で年齢階層別に生産、表示、販売されることが望まれる。

アパレル業界には、このような点に着目し、消費者の購買意欲を高めるような衣料提供を望みたい。これは率いては、高齢者の美しく装うことへの手助けにもなるのだから。今後の課題として是非検討してほしい問題である。

5. おわりに

高齢者にとって衣服は毎日の生活を安全かつ快適に営む上でより重要な意義を持っている。

しかし、衣服を提供する生産側とそれを着用する消費者側とは、相互の意識に大きなズレが生じているのも確かなようだ。このギ

ャップを少しでも埋めるよう今後の高齢者衣料の改善が望まれる。

今回、夏物衣料を通して高齢者の衣生活の動向を調べてみたが、次稿ではこれを冬物衣料に置き換えて、さらに検討を進めたい。

最後に若い学生の目に映じた高齢者の素敵な装いの一例を紹介して、この項を終りたい。

『買い物に行ったり、出掛けたりした時に、ぱっとひかれる服装をしている老夫婦を見かけることがあります。その時は母と一緒に歩いていたのですが、思わず二人で顔を見合わせました。話したいことはその夫婦の服装のことでした。言葉で表すと難しいのですが、とっても品があるように見え、そのおじいさんとおばあさんの所だけ空気が違っているように感じられる服装でした。私も母もあんな年のとり方、服装をしたいと思ったことを思い出しました。』

謝 辞

本研究を遂行するに際し、ご理解、ご指導を賜りました学園長神谷みゑ子先生、元奈良女子大学教授相川佳予子先生、またアンケート調査にご協力いただきました皆様方に衷心より感謝申し上げます。

参 考 文 献

- 1) 緒方道彦：高齢化社会と家庭生活 (財)九州大学出版会 1987
- 2) 中根芳一他：私たちの生活科学 理工学社 1996
- 3) 高間由美子：東海女子短期大学紀要第23号1997
- 4) 介護福祉士実践シリーズ2：老人介護と家政 1990
- 5) 岐阜県：ぎふをファッションの街に1995

高齢婦人の夏物衣料に関するアンケート【A】

1997年8月

以下の質問の該当するものに○印をつけるか、又は質問にお答え下さい。(○印はいくつでも可)

【お答えいただく前に】

- ・あなたのお年 1. 50歳以上～60歳未満 2. 60歳以上～65歳未満 3. 65歳以上～70歳未満
4. 70歳以上～75歳未満 5. 75歳以上～80歳未満 6. 80歳以上
- ・あなたのお仕事 1. 専業主婦 2. パート 3. 会社員 4. 自営業 5. その他

【質問事項】

- 問1. ファッションに関心はありますか。 1. はい 2. いいえ 3. 身だしなみ程度
- 問2. あなたは自分をおしゃれだと思いますか。 1. はい 2. いいえ 3. まあまあ
- 問3. 夏はおもにどんな服を着ますか。
1. ブラウス 2. ジャケット 3. ワンピース 4. スーツ 5. スカート 6. ロングスカート
7. スラックス 8. 家庭着 9. Tシャツ 10. スポーツウエア 11. 着物 12. その他
- 問4. 上記の夏服の入手方法はどれですか。
1. 既製服 2. 注文服(オーダー) 3. 自家製服(手作り) 4. その他
- 問5. 上記の質問で既製服に○印をつけた方にお尋ねします。
- ①気に入った既製服でしたか。
1. とても気に入った 2. まあまあ気に入った 3. 着られればよい程度 4. 気に入らなかった
- ②どこでお買い求めですか。
1. デパート 2. ブティック(専門店) 3. スーパー 4. 近所の小売店 5. 問屋街 6. その他
- ③既製服のメーカーは決めていますか。
1. はい 2. いいえ 3. だいたい決めている
- ④試着はしますか。
1. する 2. しない 3. ときどき
- ⑤見立てていただく方は。
1. 店の人 2. 主人 3. 娘 4. 孫 5. 嫁 6. 友人 7. ひとり 8. その他
- ⑥既製服を選ぶときにどんな点にご不満ですか。お聞かせ下さい。

[]

- 問6. 手持ちの夏服についてお尋ねします。
- ①着用するサイズは。 1. ぴったり 2. ゆったりめ 3. 小さめ
- ②自分の好みは。 1. 派手め 2. 地味め 3. 年相応 4. 無頓着
- ③自分の好きな色はどれですか。
1. 赤 2. 黄 3. 緑 4. 青 5. 紫 6. 茶 7. ピンク 8. 白 9. グレー 10. 黒
- ④服を選ぶときのポイントは。
1. 楽な服 2. 着脱しやすい服 3. 涼しい服 4. 温度調節のしやすい服 5. 品のよい服
6. 流行の服 7. 仕立ての良い服 8. 素材の良い服 9. シルエットのきれいな服
10. 体型をカバーする服 11. 若くみえる服 12. 高価な服 13. 好みの色の服
14. 洗濯しやすい服 15. しわになりにくい服 16. 年相応にみえる服 17. 安価な服
- ⑤どんな素材が多いですか。
1. 綿 2. 麻 3. 絹 4. サマーウール 5. 合繊 6. ポリエステル 7. ストレッチ

問7. 夏を快適に過ごすための服装の工夫(アイデア)をお持ちでしたら、お教え下さい。

[]

問8. 年を重ねるにつれ、どんなおしゃれをしたいと思えますか。あるいはどんな衣料を望みますか。

[]

問9. 最後にあなたは年齢よりも若くみえると思えますか。
1. はい 2. いいえ 3. 年相応

高齢婦人の夏物衣料に関するアンケート【B】

1997年8月

以下の質問にお答え下さい。

- ①あなたのお祖母さんあるいは高齢者の方にどんな洋服を着て欲しいと思いますか。
(デザイン画可)
- ②あなたのお祖母さんあるいは高齢者から洋服への不満を聞いたことがある人はその内容を簡単に述べて下さい。
- ③あなたからみてお祖母さんや高齢者の方に服装・アクセサリ・色などファッションに関してアドバイスをしてあげたいことを述べて下さい。
- ④あなたは、夏を快適に過ごすための服装の工夫（アイデア）をしていますか。
- ⑤介護衣料という言葉をよく耳にしますが、あなたにとって介護衣料とはどんな衣料ですか。具体的に書いて下さい。あるいは、身近な方の介護を通して考えてみて下さい。(デザイン画可)